



Blue ～木の芽時～

作詞/作曲 黒田リオ

小鳥たちの声 澄んだ青空 今日はどこかへ出かけよう
お気に入りのワンピース着て 髪を巻く

白く光る砂浜を 裸足で歩いてみたいの
なのに なぜ 心は もやもや霧がかかっている

誰か 連れてって 外は輝く世界
そう 手をつかんで 私を連れ出して

白く光る砂浜を 裸足で歩いてみたいの
なのに なぜ 心は もやもや霧がかかっている

2023年、年が明け節分をすぎ、新年度を間近に可愛らしいボサノバでもかこうかとピアノに向かいました。窓の外は美しい天気で鳥のさえずりさえ聞こえてくるのに、どうしても気分がのらない。

なんとか鍵盤を叩いてみるが、どこか寂しげなメロディーになってしまう。

2022年の12月、愛してやまないハワイのママ「Janeさん」が神様のもとへ旅立たれました。コロナ禍で会えない中でのお別れで、どうしても心の整理がつかずにいた私。

こんなに素晴らしい輝く今日を喜んで生きなければと思うのに、心の奥底には悲しみが鎮座し動こうとはしない。私の心は悲しみに満ちている。

それを拒まず受け入れることにして出来たのが「Blue～木の芽時～」です。

そして曲が完成したのち、まだ海外への旅行はコロナ関連の手続きが大変な時期でしたが、Janeさんに会いに行こうと、6月のハワイ行きを決めたのでした。

アルバム「春のワルツ」10曲目に収録。

ギター伴奏は初共演から早7年、信頼してやまない伊藤寛哲さん。